

各 位

会 社 名 アイサンテクノロジー株式会社
 代表者名 代表取締役社長 加藤 淳
 (東証スタンダード コード: 4667)
 問合せ先 取締役経営管理本部長 曾我 泰典
 (TEL 052-950-7500)

通期連結業績予想と実績との差異に関するお知らせ

当社は、2021年5月14日に開示した2022年3月期(2021年4月1日～2022年3月31日)の業績予想と、本日公表の実績との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

1. 2022年3月期通期連結業績予想数値と実績の差異(2021年4月1日～2022年3月31日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり連結当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 4,450	百万円 220	百万円 210	百万円 147	円 銭 26.52
実績値(B)	4,190	257	253	203	36.74
増減額(B-A)	△259	37	43	56	—
増減率(%)	△5.8	17.1	20.7	38.3	—
(参考)前期連結実績 (2021年3月期)	3,589	244	242	181	32.81

2. 差異の理由

2022年3月期は、「Investment & Innovation」をスローガンに掲げた中期経営計画の初年度となり、成長分野に対する研究開発投資や、幅広い人財の採用及び教育といった人財投資など、2024年3月期において営業利益7億円の達成を目指すための投資局面と位置付け事業活動を行いました。補助金制度を活用した計測機器の販売、高精度三次元地図事業は堅調に推移した一方、国内外の経済状況が不安定な中、高額商材・案件における計画が未達に終わり、売上高は前回発表予想を下回る結果となりました。

一方で、高精度三次元地図の生産や自動運転実証実験において、生産の効率化とコストダウンの取り組みにより本事業分野における利益率の改善に繋がりました。加えて、人財中心に投資したことで人件費は増加しましたが、その他のコスト管理を徹底したことで、売上原価及び販売費及び一般管理費の総額は計画を下回り、営業利益及び経常利益を押し上げる結果となりました。

また、2021年10月に株式会社三和の企業結合により、当社グループの連結子会社となりましたが、その際に発生した負ののれん益を特別利益として計上したことから、親会社に帰属する当期純利益が計画を上回る結果となりました。

なお、詳細につきましては本日別途公表の「2022年3月期決算短信」及び「2022年3月期補足説明資料」を御覧ください。

以 上